



## 「さつまいも」の購入数量



- 家計調査結果より -

夏の暑さも徐々に和らぎ、季節も秋に移り変わってきました。過ごしやすい季節になると食欲がわいてきますね。秋の味覚で代表的な食べ物は「さつまいも」が有名ですが、さつまいもは、かんしょ（甘藷）ともいわれ、その由来は「甘みのある芋」を意味しています。そこで、今回は秋の味覚で代表的な「さつまいも」について、家計調査（二人以上の世帯）の結果から見てみましょう。

「さつまいも」の購入数量は10月が最も多い<sup>注)</sup>

2016年～2018年平均の「さつまいも」の1世帯当たり月別購入数量をみると、10月が317gと最も多く、最も少ない月は7月で106gとなっています。比較可能な2000年～2002年平均の月別購入数量をみると、9月が480gと最も多く、6月が146gと最も少なくなっており、「2016年～2018年平均」、「2000年～2002年平均」ともに最も多い月の購入数量は最も少ない月の約3倍となっています。なお、2000年～2002年平均と比べ、2016年～2018年平均の購入数量が減少しているのは、世帯人員の減少などの影響が考えられます。

また、さつまいもは9～11月の収穫が一般的ですが、一定期間貯蔵してから出荷されるさつまいももあるため、収穫時期の9～11月だけでなく、3月頃までの寒い季節の購入数量も多くなっています（図1）。

注) 2016年～2018年平均による。

図1 「さつまいも」の1世帯当たりの月別購入数量  
(2016年～2018年平均及び2000年～2002年平均)

